



BONDING TAPE

ボンディングテープ

光重合コンポジットレジン含浸済みグラスファイバー繊維

DENTRADE
DENTAL SUPPLY&TRADE



外傷歯の固定を理想的に行える材料

材質はガラスファイバー（編み込み）とレジンです。

症例としては舌側固定法（直接法 / 間接法）、テンポラリーブリッジ（直接法 / 間接法）、ブリッジのリテーナー補強、外傷歯の固定。年に数回あるか無いかの外傷歯の固定ですが、一般的な動揺歯の固定にも勿論、有効です。



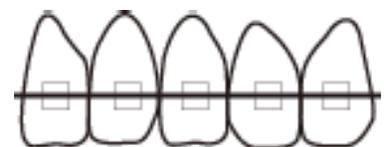
症例 A

間接法による前歯テンポラリーブリッジ（直接法でも可能）…… P41参照



症例 B

ブリッジのリテーナー補強…… P41参照



症例 C

外傷歯の固定…… P41参照



症例 D

舌側固定法（直接法）…… P42参照



症例 E

舌側固定法（間接法）…… P42参照



関連商品

デントレードシラノ
4,400 円（税込）

A 間接法による前歯テンポラリーブリッジ（直接法でも可能）



① 模型上で人工歯を試適します。



② 石膏模型に分離材を塗布し、よく乾燥します。



③ ボンディングテープと人工歯を連結します。(フロアラブルレジンを用いても良い) 照射し、硬化します。



④ 模型からブリッジをはずし、ボンディング以外をサンドブラストします。

⑤ 歯のグループ形成部をエッチング処理し、水洗、乾燥の後、ボンディング材を塗布します。(活性化はボンディング材の説明書を参照して下さい。)

⑥ フロアラブルレジンを入れブリッジを装着したのち、さらにフロアラブルレジンで覆います。(形態修正は先の短い、平らなブラシを用いると綺麗に仕上がります。)

⑦ 光重合の後、形態修正し、仕上げ研磨します。

B ブリッジのリテーナー補強



① ブリッジのリテーナーを、通法に従い作成します。リテーナーの舌面(口蓋面)にグループ形成します。(幅2.0mm / 深さ0.8mm)



② ボンディング材を塗布します。ボンディングテープを必要な長さに切断し、フロアラブルレジングループ内にいれたのち、ボンディングテープを挿入し、充填器等で圧接します。さらにフロアラブルレジン填入したのち、形態修正します。



③ 光重合ののち形態修正・研磨します。



C 外傷歯の固定

外傷歯を固定するためには副子が必要となる。望ましい副子の条件は以下の通りである。

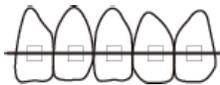
1. 矯正力ではなく、受動的な力が作用する。
2. 生理的な動揺を許容する。
3. 軟組織に影響を与えない。
4. 咬合に影響を与えない。
5. 歯内療法が行える。
6. 清掃性がよい。
7. 簡単に除去ができる。

参考資料 日本外傷歯学会 歯の外傷治療ガイドラインより



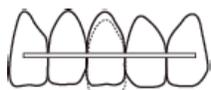
1. 矯正力ではなく、受動的な力が作用する。

ブラケットを用いてワイヤーで固定する場合は矯正力が働く。



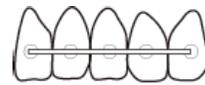
4. 咬合に影響を与えない。

ワイヤー不要でボンディングテープを歯の唇面に接着することで十分な強度が得られる。



2. 生理的な動揺を許容する。

金属線をダイレクトボンディングすると生理的な動揺を阻害する。



5. 歯内療法が行える。

唇側、口蓋側を覆う物は無く、通法による歯内療法が行われる。



3. 軟組織に影響を与えない。

ボンディングテープは歯肉に触れず、口唇に着いても為害性はない。厚さもわずか0.2mmである。

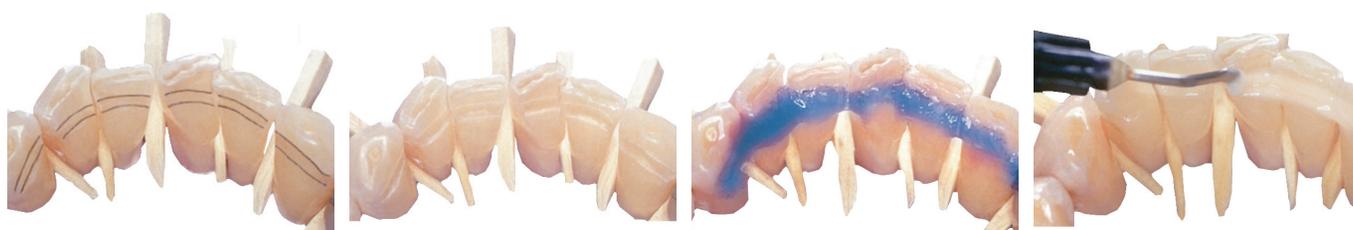
6. 清掃性がよい。

幅2.0mm・厚さ0.2mmのテープの薄さであり、歯頸部の清掃を妨げない。

7. 簡単に除去ができる。

スクレーパーやホワイトポイント等で簡単に除去できる。

D 舌側固定法 (直接法)



①グルーブの形成 (必要な場合)
直径約 2mm のダイヤモンドバー (ISO001/021) 等にて幅約2mm深さ約0.2mmのグルーブ形成を行います。

②防湿および歯面清掃
清掃は、フッ素無配合のペーストを用いて行います。

③エッチング処理
エッチャントを接着部位に塗布します。その後水洗し、十分に乾燥します。

④光重合型コンポジットレジン (フロアラブルレジン) 塗布



⑤ボンディングテープの接着
本材をコンポジットレジン上に圧接し、適当な器具を用いて歯間部に押し込みながら、歯牙の辺縁に適合させます。



⑥光重合
舌側と唇側から各々照射します。1回20～40秒 (波長域: 470±30nm 光量: 600mW以上)



⑦本体表面にコンポジットレジン
コンポジットレジン塗布後、毛の短い平らなブラシ等を用いて修正すると表面が滑らかになり、仕上げの時間を短縮できます。舌側と唇側から、各々照射1回20～40秒します。(波長域: 470±30nm / 光量: 600mW以上)



2017年6月 歯科医師 山本 幸夫

E 舌側固定法 (間接法)

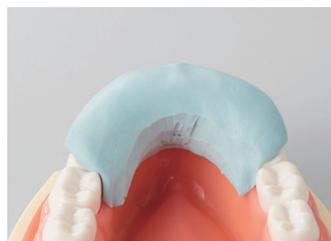


①患部をヘビーボディーにて印象

②ナイフにてボンディングテープ装着部をトリミング

③ボンディングテープをセット (この際、少量のフローレジンを用いると便利)

④固定歯にも少量のフローレジンを追加



⑤パテを戻す



⑥唇側より光照射



⑦舌側にフローレジンを少量塗布し筆にて平滑化



⑧光照射 ⑨研磨し完了

※上記は模型上で行った操作の写真のため厚さを感じますが、臨床ではボンディングテープの厚さは0.2mmであり、はるかに薄く仕上がります。

BONDING TAPE ボンディングテープ

販売名: ボンディングテープ (BONDING TAPE)
一般的名称: 歯牙固定用補強材
指定管理医療機器製造販売認証番号: 229AGBZX00020000
寸法: 85×2.0×0.2 (mm)
機器の分類: 管理医療機器 (クラスII)
標準価格: 8,800円 (3本入) (税込)



www.dentrade.co.jp

有限会社デントレード

〒567-0041
大阪府茨木市下穂積4丁目13-107
TEL: 0120(7)86086
FAX: 0120(1)86086
EMAIL: info@dentrade.co.jp